

# 認定調査だより

No.8



梅雨が明け、色とりどりの花火が夜空を彩る季節となりました。  
前号に引き続き、定義の再確認・特記のポイントに重点を置き特に気を付けていただきたい項目をとりあげます。

今回は定義の理解誤りの多い（1-5 座位保持）（1-9 片足立位）を取り上げます。

## 【評価軸：能力】

- 「身体」「認知」能力の項目で構成される。
- 「できる」「できない」の軸で評価する（実際に介助があるかどうかは関係ない）
- 「試行」＜「日頃の状況」（調査時の状況と日頃の状況が異なる場合は具体的な内容を特記事項へ記入する。）



それでは実際の調査票から考えていきましょう。

## 【A 調査員さんが作成した特記事項】

- （1-5 座位保持）体力低下著明であり座位保持には背もたれが必要と本人から聞き取る  
【選択肢：支えてもらえればできる】
- （1-6 両足立位）家具につかまり行う  
【選択肢：何か支えがあればできる】
- （1-7 歩行） 家具等につかまりゆっくり歩行している。外は杖を使用している。  
【選択肢：何かにつかまればできる】
- （1-8 立ち上がり） 椅子からは机に手をつけて立ち上がる  
【選択肢：何かにつかまればできる】
- （1-9 片足立位）片足では立てないと本人から聞き取る  
【選択肢：できない】



1つめは（1-5 座位保持）デキスト45頁～47頁参照

【調査項目の定義】一定期間：調査日より概ね過去1週間  
背もたれがない状態での座位の状態を10分間程度保持できるかどうかの能力

この特記で「支えてもらえればできる」を選択できるのかな？  
試行していないようだけど、なぜできなかったんだろう？  
日頃の状況はどうなのかな？見たまま聞いたままの状況を書いているだけだね。





☆調査項目の選択方法：選択の基本は試行

- 安全確保を第一に可能な限りテキストの規定する環境や方法で試行する。
- 選択の判断に迷う場合は、迷わずに特記事項へ

☆特記事項のポイントは「日頃の状況」の聞き取り

- 日頃の状況≠日頃の生活の様子
- 日頃の状況＝日頃の「確認動作」の可否(その判断において日頃の生活の様子が参照されることはある。)

他の項目をみると、つかまれば立ち上がれるし、杖を使用して歩いている…。状態像が一致しないよね。



【選択肢の選択基準：支えてもらえればできる】

背もたれがないと座位が保持できない、あるいは、介護者の手で支えていないと座位が保持できない場合をいう。

「支えてもらえればできる」には当てはまらないようだね。  
この特記は何が足りないんだろう？  
試行できないときは、どんなことを聞き取ればよかったのかな？



☆聞き取りのポイント☆

定義されている行為になるべく近い生活の中での動作を聞き取る

日頃の状況の聞き取りの仕方に工夫をしてみよう！

食事摂取の場面で飲み込みやすい姿勢で食器を持って10分程度かけて食事ができているかどうか。など具体的にイメージしやすい内容を聞いてみよう。

【修正後の特記】

調査時は体調悪く、背挙げしたベッドにもたれていたが、食事はダイニングの椅子に座りもたれことなく食器を持って30分位かけ食べていると聞き取った。

【選択肢：できる】



次に(1-9 片足での立位) テキスト55頁～56頁参照

【調査項目の定義】一定期間：調査日より概ね過去1週間

立ち上がるまでに介助が必要か否かにかかわらず、平らな床の上で、自分で左右いずれかの片足を上げた状態のまま立位を保持する(平衡を保てる)ことができるかどうかの能力

「できない」と言われて試行できなかったんだね。  
そう言われてしまうと、それ以上行ってもらえないよね。  
どうしたらよかったんだろう…？



聞き取りの仕方を工夫してみるといいよ。  
選択肢は平らな床の上で、自分で左右いずれかの片足を上げた状態のまま  
1 秒間程度、立位を保持できるかどうかで選択するよ。

1 秒間程度の立位保持だから、聞き取りのときに「片足があげられますか？」  
ではなく、「足踏みはできますか？」と聞いたら試行できたかもしれない。  
試行できないときは日頃の状況で判断だけど、どんなことを聞き取ればいい  
かな？



定義されている行為になるべく近い生活の中での動作を聞き取るよ  
「玄関はどのようにして上っていますか」「段差は超えられますか」など具体的  
に聞いてみよう。

#### 【修正後の特記】

調査時は「怖い」と訴えられ試行できなかった。自宅の玄関に段差があり、手すり  
につかまって昇り降りしていると聞き取ったため、日頃の状況から  
「何か支えがあればできる」を選択した

【選択肢：何か支えがあればできる】



能力の項目は、寝ている状態から起き上がって、座って、歩くまでの過  
程を 1 項目ごとに区切って確認しているよね。  
項目ごとに定義に基づいた選択となっているか、全体として状態像がイ  
メージできるものとなっているか、提出の前に確認しよう。



#### ～編集後記～

現任研修の日時と開催場所が決定しました。申込書は別途お送りします。

1回目 11月15日(水)  
2回目 11月16日(木)  
3回目 11月24日(金) } 岡山ふれあいセンター2階研修室  
13:30~16:30



都合のよい日にご参加ください。

暑い日が続きます。体調を崩さないようお気を付けてください。

【平成 29 年 7 月 24 日 発行元：岡山市介護保険課】